

教育委員会会議録（8月定例会）

日 時

平成27年8月28日（金）
午後3時00分から午後4時05分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	森嶋 鎮一郎
委員	花田 和郎
委員	伊藤 吾子
教育長	中山 俊恵

欠席委員

委員長職務代行者	上村 由美
----------	-------

委員以外の出席者

教育部長	吉成 日出男
総務課長	清水 透
学校施設課長	関根 博之
学務課長	内山 信弘
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	佐川 勝宣
スポーツ振興課長	住谷 玲
スポーツ振興課課長	吉田 和則
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	川崎 恭子
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	大沢 靖司
宮田調理場長	川崎 浩行
総務課課長補佐(兼)庶務係長	中村 大介
総務課課長補佐(兼)計画財務係長	酒地 康彦
総務課係長(企画員)	下村 彰彦
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第 8 号 教育委員会 7 月定例会の会議録について

2 議 案

議案第 39 号 平成 27 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について

議案第 40 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提案について

議案第 41 号 諏訪小学校校舎改築事業建築主体工事の請負契約の締結について

議案第 42 号 諏訪小学校校舎改築事業機械設備工事の請負契約の締結について

議案第 43 号 日立市立図書館協議会委員の任命について

議案第 44 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

3 その他

(1) 第 74 回国民体育大会（茨城国体）について

(2) 学校プール開放事業の実施結果について

(3) 全国・関東中学校体育大会等への出場者について

(4) 日立市郷土博物館開館 40 周年記念事業について

(5) その他

(6) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、只今から8月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が3名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 8 号

教育委員会7月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第8号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 事

議 案 第 3 9 号

平成27年度教育委員会9月補正予算の提案について

委 員 長

それでは次に議事に移ります。
議案第39号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長

平成27年度教育委員会9月補正予算について提案するもので
す。

まず、歳入歳出予算についてです。

歳入については、14款 国庫支出金、2項 国庫補助金を641
千円増額し、歳入の総額を3,735,670千円とするものです。

これは、特別支援学校に配置している看護員に係る経費につい
て、補助率3分の1である「教育支援体制整備事業費補助金」の交

付が決定したことから、補正を行うものです。

歳出については、10款 教育費、6項 保健体育費を791千円増額し、歳出の総額を8,419,139千円とするものです。

これは、平成31年に開催を予定している茨城国体に係る、本年度における準備経費です。

内訳としては、職員の時間外勤務手当などの職員人件費が217千円、新たに設置する準備委員会の負担金が574千円となります。

次に、債務負担行為についてです。

現在、中央体育館を除く市民運動公園の管理については、日立市体育協会を管理の指定者としていますが、今年度末をもって指定の期間が終了となります。平成28年度に池の川さくらアリーナが竣工することから、10月からは、当該アリーナを含め、新たに指定管理を行う予定ですが、4月から9月までについては、引き続き日立市体育協会に指定管理を行わせることとするため、半年分の委託料について、期間を平成28年度まで、限度額を64,700千円として、債務負担行為を設定するものです。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案 第40号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提案について

委員長 次に、議案第40号について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を議会に提出するため、提案するものです。

点検及び評価については、平成19年度の事務から実施し、今年で8回目となります。

今回は、平成26年度の事務について点検及び評価を行い、報告書をまとめました。

報告書は、例年と同様に4章の構成となっており、第1章に点検・評価制度の概要、第2章に施策評価、第3章に教育委員・教育委員会の活動状況、第4章に教育行政点検評価委員からの意見を掲載しています。

施策評価についてですが、市の基本計画における施策の柱ごとに、合計で19の施策について点検及び評価を行いました。

また、施策評価調書では、様式1に施策の目的、取組の内容、取組の成果、残されている課題、課題などを踏まえた今後の取組方向、

点検評価委員からの意見を記載し、様式2に、施策を構成する事業ごとに、担当課、実施内容、平成25年度からの変更点、平成27年度の実績を記載しています。

また、報告書には、目標指標の達成状況として、市基本計画及び学校教育振興プランにおいて目標水準を数値化している取組について、平成26年度における実績を示しています。

第4章の教育行政点検評価委員からの意見には、茨城キリスト教大学副学長の池内委員、日立市社会教育委員の柴田委員、小・中学校PTA連合会会長の志摩委員の3人から、点検及び評価の総括をし、いただいた意見を掲載しています。

委員の皆様には、市独自の取組など、いくつかの施策について評価をいただくとともに、理解しやすい報告書であるなど、一定の評価をいただきました。一方で、それぞれ専門的な視点から、課題についても意見をいただいたところです。

池内委員からは、施策評価調書の目的の欄に手段が記載されている施策が見受けられるため、「誰をどのような状態にする」というように、目的を具体的に記載すること、また、「知・徳・体」に係る取組をできるだけ数値化して公表することなどについて、意見をいただきました。

柴田委員からは、食に関する指導を点検及び評価の対象事業に加えること、そして、学校運営協議会制度を導入することについて、意見をいただきました。

志摩委員からは、施策評価調書の目的の欄には、目指す姿やビジョンを記載すべきこと、そして、他市に比べて手厚い施策については、引き続き実施してほしいなどの意見をいただきました。

委員 貴重な意見だと思います。
特に目的と手段が混同していることは、確かにそのとおりだと思います。

委員 8月の教育委員会月報に、「教職員の勤務・実態を十分に考えて」というコラムが掲載されています。そこには、文部科学省初等中等教育局の方が、中学校に1年間研修に行った際に、実際の現場は自分たちが考えていた学校と大きく違っていたと感じたことが書かれています。

やはり、行政職の方にとって一番難しい点は、学校現場の実情を把握することだと思います。体験してみないと分からない部分が多いからです。

そういった意味で、それぞれの点検評価委員の方は、よく気づいて意見を出していただいたと感じます。

教育委員は、企業としての意見、行政としての意見など、様々な

視点から意見を述べますが、十分現場を踏まえて意見を出していかないといけないという思いで、報告書を見させていただきました。

特に、「ふれあい活動や体験学習の充実」の施策に対する意見の中で、心の成長を数値化することは難しいため、指導要録の記述や数値評価などを指標とするのが良いと述べられています。

これについては、教科の指導要録だけ見ていると誤解を生じてしまいます。

学校には、行動の記録というものがあり、学校長は、それを分析し、例えば基本的な生活習慣が身についているかどうかは、自分の学校の子どもたちの何割ぐらいがA評価を受けているかなどを把握しています。

行政は、そういったことを酌み取っていく必要があると思います。

全体的には、しっかり点検・評価されていると感じました。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案 第41号 諏訪小学校校舎改築事業建築主体工事の請負契約の締結について

議案 第42号 諏訪小学校校舎改築事業機械設備工事の請負契約の締結について

委員長 次に、議案第41号及び第42号について、学校施設課長から一括して説明をお願いします。

学校施設課長 まず、諏訪小学校校舎改築事業建築主体工事の請負契約の締結についてです。

諏訪小学校校舎改築事業については、昨年度、基本実施設計を行い、今年度から、来年度末の完了を目途に工事を進めることとしています。

その中で、改築部分の建築主体工事について、請負契約の締結を提案するものです。

工事の名称は、諏訪小学校校舎改築事業建築主体工事です。

工事の場所は、日立市諏訪町3丁目地内です。

工事の概要は、校舎建設工事です。

契約金額は、853,200千円です。

契約の相手方は、日立土木・熊田・久下谷特定建設工事共同企業体です。

完成の期限は、平成28年12月10日です。

契約の方法は、一般競争入札です。

次に、諏訪小学校校舎改築事業機械設備工事の請負契約の締結についてです。

これは、建築主体工事に合わせて行う機械設備工事について、工事請負契約の締結を提案するものです。

工事の名称は、諏訪小学校校舎改築事業機械設備工事です。

工事の場所は、日立市諏訪町3丁目地内です。

工事の概要は、機械設備工事一式です。

契約金額は、172,260千円です。

契約の相手方は、飯村・中央・東邦特定建設工事共同企業体です。

完成の期限は、平成28年12月10日です。

契約の方法は、一般競争入札です。

建物は、鉄筋コンクリート造の2階建てで、職員室等の管理室と、普通教室12教室が配置されています。また、特別教室については、家庭科室が配置されることとなっています。

委員 昨年度、水木小学校の校舎が新しくなりましたが、それと比較すると、今回はより良い校舎となるのですか。

学校施設課長 校舎の改築等を行うに当たっては、学習環境、生活環境の充実を図ることが基本であると考えています。

そういった意味では、既に改築等を行った学校と大きな差をつけるという意向はありません。

基本的にはオープン教室や衛生的なトイレ環境、風通しや日当たりの良さなどといった点を考慮しています。

委員 市民の方々は、一つの学校だけでなく、全ての学校に平等にお金をかけてほしいと考えていると思います。そういう意味で、今回の諏訪小学校の契約金額についてはいかがですか。

学校施設課長 今回の工事における諏訪小学校の平米単価は、30万円程度となります。

これまで工事を行った学校が30万円から33万円程度ですので、大きな差はありません。

ただし、学校ごとの敷地に応じた建物の配置や間取りとしていますので、若干単価に違いがあります。

デザインにお金をかければ、当然その分単価が上がりますが、地域のシンボルとなる施設でもありますので、多少デザインにも配慮しながら、学習環境、生活環境に満足できるような学校づくりを進めていきたいと考えています。

委員 建築資材や人件費の高騰がある中で、今回の契約金額は、当初の想定と比べていかがでしたか。

学校施設課長 昨年度設計した際に、建築資材や人件費の高騰を見込んで金額を算出したため、ほぼ予定どおりの契約金額となりました。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案 第43号 日立市立図書館協議会委員の任命について

委員長 次に、議案第43号について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 日立市立図書館協議会委員は、平成27年8月31日をもって任期満了となるので、新たに委員を任命するものです。

委員9名のうち、1名の方が新任となり、残りの方は再任となります。

任期は、平成27年9月1日から平成29年8月31日までです。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案 第44号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

委員長 次に、議案第44号について、視聴覚センター所長から説明をお願いします。

視聴覚センター所長 日立市視聴覚センター運営委員会委員は、平成27年8月31日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱するものです。

委嘱する委員12名の方は、全て再任となります。

任期は、平成27年9月1日から平成29年8月31日までです。

(本件については原案どおり可決されました。)

4 その他

(1) 第74回国民体育大会（茨城国体）について

委員長 続きまして、その他に移らせていただきます。
その他（１）について、スポーツ振興課課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課課長 第74回国民体育大会（茨城国体）について、説明します。
まず、愛称・スローガンについてです。
前回、昭和49年に開催された第29回国民体育大会のテーマは、「水と緑のまごころ国体」でしたが、45年ぶりに開催となります今回は、愛称が「いきいき茨城ゆめ国体」、スローガンが「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」となっています。
次に、開催時期（期間）についてです。
現在、茨城県が日本体育協会に会期案を提出中であるため、時期は確定していませんが、平成31年9月中旬から10月中旬までの11日間以内での開催が予定されています。
次に、日立市で開催される競技についてです。
日立市で開催される正式競技は、バスケットボール、卓球、軟式野球の3種類となります。
特に、バスケットボールと卓球については、現在建設中である池の川さくらアリーナをメインに使用して、競技を開催する予定となっています。
また、デモンストレーションスポーツとして、日立市発祥のパンポンが開催される予定です。パンポンは、都道府県対抗の得点対象となりませんが、県民のスポーツ振興を図るために開催されるものです。
続いて、今後の主なスケジュールについてです。
今年度は、日立市準備委員会を設置し、国体における基本方針等を作成していきます。先ほど御承認いただきました9月補正予算のとおり、国体の開催準備経費を、市議会に上程したいと考えています。
平成28年度には、正式に開催日が決定しますので、それを受け、日立市実行委員会を設置します。
平成30年度には、国体が円滑に開催できるようにリハーサル大会を開催し、平成31年度に、第74回国民体育大会が開催される予定となっています。
今後の準備状況については、機会を捉えて、委員の皆さまにも協議いただき、円滑に進めていきたいと考えています。

（２）学校プール開放事業の実施結果について

委員長 それでは次に、その他（２）について、スポーツ振興課長から説

明をお願いします。

- スポーツ振興課長** 学校プール開放事業の実施結果について、説明します。
この事業は、東日本大震災で被災したかねさわ市民プールの廃止に伴い、平成24年度から実施しているものです。
今年度は、塙山小学校と大沼小学校で開放しました。
塙山小学校については、地元の総合型地域スポーツクラブである塙山コミュニティクラブの協力により、7月21日（火）から8月10日（月）までの平日15日間、大沼小学校については、警備会社に委託し、7月21日（火）から7月27日（月）までの平日5日間実施しました。
参加者数は全体で1,415人と、昨年度より132人増となっており、平成24年度から毎年参加者数が増えています。
- 委 員** 今回解放した2校以外の学校プールについても、開放の要望はあるのですか。
- スポーツ振興課長** 開放校を拡大する際は、地域の方の協力が必要となるので、調整が必要となります。
また、この事業は、かねさわ市民プールが被災地であることから、多賀地区の子どもを中心に対象として実施しています。それ以外の地域には、それぞれ公営のプールがあり、学校プール開放を拡大すると、そこに影響が出てしまう可能性があるため、検討が必要であると考えています。
- 委 員** 小学校のプールは夏休み中も水を循環させているのですか。
- スポーツ振興課長** 学校によりますが、使用する予定がある場合には循環させていますし、予定がない場合には水を止めることもあります。
- 委 員** 子どもたちにとって、学校のプールは使いやすいと思います。
そういう意味でも、拡大できるのであれば検討してほしいと思います。
- スポーツ振興課長** 学校の有効活用について、検討していきたいと思います。
- 教 育 長** 豊浦小では、指導という形でプール開放を行っていますし、様々な形でプールを利用いただいています。
まずは、そういった実態を把握し、市としてどうするのかを検討していきたいと思います。
どの地域に住んでいても、使いやすいプールがあるということが

大事であると考えています。

委員 公営のプールが市に3か所あっても、ある程度距離があるので、親に送ってもらわないと行けない子どもが多いのではないのでしょうか。

学校のプールであれば、友達同士でも行くことができると思います。

学びの広場が夏休み中にありましたが、例えば、前半に勉強をして、後半はプールなどとすれば、子どものやる気も高まるのではないかと思いました。

指導課長 取組の一例として、各学校にも示したいと思います。

(3) 全国・関東中学校体育大会等への出場者について

委員長 それでは次に、その他(3)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 全国・関東中学校体育大会等への出場者について、報告します。まず、関東中学校体育大会については、8校から21名の生徒が出場しました。団体としては、サッカー、卓球において5校が出場しています。

また、全国大会には、台原中学校の渡邊航輝さんが水泳競技で、豊浦中学校の大部美紅さんが陸上競技で、それぞれ参加しました。

次に、平成27年度英語インタラクティブフォーラム県大会についてです。

8月21日(金)に、筑波学院大学で、英語インタラクティブフォーラム県大会が開催されました。

日立市からは、A部門中学2年の部で、河原子中学校の工藤大貴さんが、県知事賞を受賞しました。

また、英語を使用する国に在住経験がある子どもなどを対象としたB部門では、泉丘中学校の行平安佑菜さんが県知事賞を、茨城キリスト教学園中学校の沼館瑛美さんが県議会議長賞を受賞しました。

委員 関東大会、全国大会に出場すると、子どもたちの引率の方々の旅費がかかります。

この費用はどこが負担するのですか。

指導課長 生徒活動の後援会が寄付金を募るなどしています。

委員 市教育委員会からは補助金等はないのですか。

スポーツ振興課長 少年団などの全国大会参加者に対しては、開催地に応じた補助金を交付しています。

中学生の体育大会については、中学校体育連盟から補助金が交付されています。

委員 補助金だけでは費用が足りず、地域から寄付金を募って賄っている場合もあるようです。

そういったことから、日立市は体育にも力を入れていると公言していますが、市民から理解を得られない部分も出てきてしまうと思います。

指導課長 中学校体育連盟からは、宿泊料として1泊9千円以内の補助があります。

交通費は、JR換算で全額補助があります。

委員 インタラクティブフォーラムについて、A部門の参加資格はどのようなものですか。

指導課長 学校内の選抜があり、地区大会、県北大会を通して、県大会に出場します。

委員 A部門の受賞者は、県南地区と県西地区の学校がほとんどです。何か理由があるのでしょうか。

教育長 県北地区の生徒が上位となることは、これまでもあまりありませんでした。

委員 今回は特に常総市の学校が多いですね。何か特色のある取組があるのでしょうか。

指導課長 常総市の取組については、情報を収集します。

日立市の取組としては、教員の英語研修に力を入れていること、そして、英語の体験活動、海外短期留学、姉妹都市研修生派遣など、子どもたちの英会話や国際理解に対する関心意欲を高める施策について、継続して充実させています。

これらの取組も、今回日立市の生徒が受賞した理由の一つではないかと考えています。

(4) 日立市郷土博物館開館40周年記念事業について

委員長 それでは次に、その他(4)について、郷土博物館課長から説明をお願いします。

博物館課長 日立市郷土博物館開館40周年記念事業について、説明します。
日立市郷土博物館が、開館から40周年を迎えました。これまで、10周年の節目ごとに記念式典を行ってきましたが、今回も、記念事業を開催することで、これまでの活動の成果を広く市民に周知するとともに、より親しまれ活用される博物館像を市民にアピールします。

記念事業の主な内容としては、記念式典の開催、記念誌の発行、記念特別展示の開催です。

記念式典は、10月21日(水)に開催し、市長、市議会議員、教育委員、県立博物館・美術館の関係者の皆様に参加していただき、過去10年間に博物館の運営や活動に貢献のある功労者や、資料の寄贈者に対し、感謝の意を表して、感謝状を贈呈します。

また、記念講演と記念特別展示の内覧会を実施します。

記念特別展示については、10月24日(土)から12月6日(日)の43日間、日立市出身の増田聡子氏の絵画展を実施するものです。現代美術界で活躍する増田氏の初の回顧展となります。

(5) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

生涯学習課長 桐生市臨海子ども会及び桐生市との子ども会リーダー交歓研修会の開催結果について、報告します。

まず、桐生市臨海子ども会についてです。

7月24日から28日までの5日間、2団編成で2泊3日の臨海子ども会が実施されました。

参加人数は474名で、昨年度より40名多い参加となりました。

期間中は晴天に恵まれ、海水浴やキャンプファイヤーなど、予定どおり実施することができました。

次に、子ども会リーダー交歓研修会についてです。

8月8日から9日までの2日間、日立市の子どもたちと指導者を合わせ63名が、桐生市で行ったリーダー交歓研修会に参加しました。

研修会では、藍染め体験や、桐生まつりの繭玉ころがしや八木節

への参加などを行い、桐生市の子どもたちとの交流を深めました。

(6) 次回の教育委員会の日程について

委員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総務課 長 平成27年9月29日、火曜日に、日立市教育プラザで午後3時30分から開会予定です。

5 閉 会 午後4時05分

委員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会8月定例会を終了します。